



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 岡寄 桃子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 岡寄 桃子

【指導医】

聖路加国際病院 循環器内科 浅野 拓

当院にて心不全で入院をされた方を対象とした

予後予測に関する研究

1.研究の対象

2014年1月から2022年12月までに、当院循環器内科に心不全で入院された方

2.研究の目的・方法

心不全と腎障害は強く相関関係にあり、尿中L型脂肪酸結合蛋白（以下尿中L-FABP）は腎障害の早期診断に有用な検査項目であり、心不全の方で尿中L-FABPの値が高い方は、腎機能の悪化や再入院率が高いことが示されております。今回心不全の患者さんで入院時に尿中L-FABP検査をされた方について調査することで、予後にどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年8月7日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 年齢、性別、身長、体重、BMI、合併症、既往歴、喫煙歴、家族歴、血液生化学検査、臨床転帰、カルテ番号等